資料４

新クリーンセンター整備イメージ（案）

草津市第５次総合計画

草津市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

第２次草津市環境基本計画

整備基本方針

安全で安定した施設

施設での処理が安全に行われ、市民および施設職員が安心できる施設を整備し、維持管理が容易で耐久性に優れた設備を導入し安定した施設を目指します。

・安全な施設配置・車両動線の確保
・安定稼働（運転）の実現
・長寿命化の実現

環境に配慮した施設

環境汚染物質の発生を抑制し、環境負荷の低減を図り、余熱エネルギーの有効利用により循環型社会へ貢献できる施設を目指します。

経済性・効率性を考慮した施設

建設費および維持管理費などの運営費を含めたごみ処理コストの低減化や、効率的な資源化、およびエネルギーの有効利用を図る施設を目指します。

・適正な維持管理計画
・さらなる資源化の推進
・高効率発電の実現

「環境に配慮した施設」の３つのコンセプト

「資源循環型社会の構築に貢献する施設」
自然エネルギーや再生可能エネルギーの積極的な導入、省エネルギー、自然建材の活用等により、地球環境への負荷の小さい「小」エネルギー型の施設

「環境を大切にする心を育む施設」
周辺環境への環境負荷を低減をする考え方から一歩進んで、周辺地域の豊な自然環境に溶け込み、草津市郷土の生き物等と共生できる施設。

「親しまれ身近に感じられる施設」
施設見学コースの工夫や、活動場所として整備することで、多くの方が訪れ、子どもや大人、市民活動団体等の活動拠点としていただけるような施設。

≪エネルギーの森≫

（例）
・自然エネルギー等の導入
　高効率バイオマス発電（ごみ発電）、
　太陽光、小型風力、薪ストーブ、地熱利用　など
・省エネルギー設備等の導入
　ＬＥＤ電球、自然採光、断熱外壁
　雨水利用、自然建材　など
・電気自動車の活用
　充電設備の整備
　（電気自動車で不法投棄パトロールなど
・剪定枝の活用（場内利用）

≪自然環境の森≫

（例）
・可能な限り森をイメージした植栽等を行なう。
　在来種を活用した植栽
　工場棟・管理棟の壁面緑化や屋上緑化
　川・ビオトープ等の整備
　自然観察ができるコースやポイントの整備

周辺の貴重な生物等が定着＝環境との共生

≪市民活動の森≫

（例）
≪啓発関係≫
・施設見学コース
　自然エネルギーやごみの仕組み
　小学校４年生、一般向け
　体験等を組み入れ、５感を刺激
・イベントスペース
　リサイクルフェアなどの開催
・自然環境、環境関連施設との連携
≪実践関係≫
・体験工房の整備
　ガラス工房、布工房、
　紙すき工房　　など

排ガスの規制基準値、環境基準値という指標だけでなく、環境にやさしい施設であることを、敷地内の生き物という指標を活用し環境共生型の施設としてＰＲ（生き物調査を実施）